第一条（目的）

1. 本規約は、株式会社チック（以下、「弊社」という）が管理・運営する「ドローン練習場ブーメラン」（以下、「練習場」）を安全かつ適切に利用するため必要事項を定めたものとする。

第二条（利用の制限）

1. 練習場の利用は、電動マルチコプターの試験飛行および訓練する場合に限る。これに当てはまらない場合は、弊社との協議を必要とし、詳細計画書を確認の上、利用の可否を検討する。

第三条（予約）

1. 練習場を利用する者（以下、「利用者」）は、会員登録ののち専用フォームより予約を行う。
2. 利用の申込みは、同時刻に他の利用者がいない場合のみ可能とする。
3. 利用料金が発生する場合の予約は、弊社からの請求金を支払い、その確認を行った時点で成立する。
4. 予約をしていない利用は一切の効力を有さないものとし、これにより利用者に生じる損害について管理者は一切の責任を負わない。

第四条（利用料金の支払い）

1. 利用料金が発生する場合の利用者は、利用当日から起算して銀行営業日 3 日前までに、弊社が請求する利用料金を支払う。その際に発生する振込手数料等は利用者の負担とする。ただし、無料会員はこの限りではない。

第五条（予約内容変更・キャンセル）

1. 利用料金が発生する場合の利用者は、利用前日までに入金を確認できない場合には、予約取り消しとする。
2. 練習場利用当日にキャンセルおよび日程変更を可能とする。ただし、日程変更は、再度予約手続きが必要とする。

第六条（個人情報保護）

1. 弊社は、別途定める個人情報保護方針に従い管理を行う。
2. 弊社は、利用者から提供された情報が不正確であることにより利用者または第三者に生じる損害については、一切の責任を負わない。

第七条（開始および終了）

1. 利用者は、予め機体の種類および保険の有無を申告する。
2. 利用者は、利用当日の練習場において、規定に基づき速やかに利用開始する。
3. 利用者は、現状回復したのち利用終了とする。

第八条（開場・休場日・利用時間）

1. 利用者は、事前に申請した時間枠内で利用する。
2. 午前中の利用時間を延長する場合は、午後の枠に予約がない場合に限り可能とする。ただし、再度予約手続きが必要である。
3. 利用時間には、事前準備および後片付けの時間を含む。
4. 練習場の休場日および開場時間は、弊社が臨時的に変更する場合がある。

第九条（安全管理）

1. 利用者は、国内の法令、自治体の条例および 当社の安全指針の遵守、近隣住民への配慮を義務とする。
2. 利用者は、本規約掲載事項以外に関しても節度ある利用に努める。

3. 練習場利用中は、利用者の責任の下で防災、防犯等の安全管理を行う。
4. 利用者は、非常時に備えて避難方法、防災設備の位置や利用方法等を事前に確認を行う。
5. 弊社が安全管理のため必要だと判断した場合には、練習場に立ち入ることができ、利用者はこのことを予め同意するものとする。
6. 弊社は、利用者が練習場の安全または雰囲気害すると判断した場合は、利用を中止させることができる。
7. 利用者は、練習場利用中に、その他不測の事態が生じた場合には、弊社の指示に従う。

第十条（運用方法）

1. 利用者は次の各号に従い練習場を利用すること。
 - (1) 弊社が定める飛行可能エリアを厳守する。
 - (2) 飛行可能エリア内の地上風速が 5m/s を越える場合は、練習場の利用を中止する。
 - (3) 利用申込み時に記載した機体を使用する。
 - (4) 代表利用者（責任者）は、無人航空機に関する全てに責任を持ち、安全管理を行う。
 - (6) 利用者は、全員、損害賠償保険に加入し、保険証書の写しを持参する。
 - (7) 利用者は、無人航空機の飛行に関わる法律、条令、規制等を遵守する。
 - (8) 利用者は、電波法および関連法規に定められた技術基準に適合する機器を使用する。
 - (9) 利用者は、フライト毎に飛行前の事前点検・整備を行う。
 - (10) 利用者は、許可なく空撮データの公開を行わない。
 - (11) 利用者は、緊急時の連絡、また事故発生時の対応を着実にを行う。
 - (12) 見学者は、飛行可能エリアに立ち入ることを禁ずる。

第十一条（禁止事項）

1. 利用者が次の各号のいずれかに該当する場合、弊社は、当該利用者に練習場の利用を禁じる。また、これにより利用者に生じた如何なる損害についても、管理者は一切の責任を負わない。
 - (1) 第十条を逸脱する運用を行った場合
 - (2) 申込み時と実際の利用内容が異なる場合
 - (3) 申込み時の記載内容に偽りがあると弊社が判断した場合
 - (4) 管理上または風紀上好ましくないと弊社が判断した場合
 - (5) 関係法令に反する場合、また関係官公署の指示に反する場合
 - (6) 弊社の許可なく、練習場内外で作業や催事行為（撮影、印刷物の配布、募金行為、宗教活動、政治活動等）をした場合
 - (7) 集団的にまたは常習的に暴力的不法行為、反社会的行為などを行うおそれがある組織の利益になると弊社が判断した場合
 - (8) 練習場への危険物の持ち込み、または練習場内の建物、設備、備品等を汚損、破損、紛失した場合
 - (9) 音、振動、臭気の発生等により、練習場周囲に迷惑を及ぼす、またはその恐れがある場合
 - (10) 本規約に違反すると管理者が判断した場合
 - (11) その他、公序良俗に反する場合
 - (12) 飲酒後での入場および練習場内で飲酒をした場合
 - (13) 火気を用いる行為を行った場合
 - (14) 弊社並びに練習場の運営を妨害した場合
 - (15) 法令違反、犯罪もしくは、それらのおそれのある行為をした場合、または刑事事件に関与している疑いがあり、練習場の利用を継続することにより管理者の信用が害されるおそれがある場合
 - (16) その他、弊社が利用者として不相当と判断した場合

2. 前項により利用申込みの取り消し、または利用中止した場合は、弊社は既に受領した利用料金は一切返金しない。
3. 前項により管理者に損害が発生した場合は、利用者に被った損害の賠償を請求する。
- 4.

第十二条（緊急対応）

1. 利用者は、練習場利用中に墜落事故を起こした場合、必ず機体を回収する。
2. 利用者は、練習場利用中に墜落事故を起こした場合、弊社に直ちに報告したのち、事故現場の撮影記録、事故報告書を弊社に提出する。
3. 利用者は、練習場利用中に火災事故が発生した場合は、すみやかに消防へ連絡する。
4. 利用者は、練習場利用中に人身事故が発生した場合は、すみやかに負傷者の応急措置を行う。必要な場合は病院へ連絡および搬送をして、弊社へ報告する。

第十三条（利用後の原状回復）

1. 練習場の利用終了後、利用者は利用前の状態まで原状回復を行う。
2. 練習場の利用終了後、機体の消耗部品やごみ等は、全て利用者が責任を持って回収する。残材、ごみ等の処理がなされず、管理者がその処理を行ったことにより発生した費用は利用者に実費にて請求する。利用者はその支払い義務を負うものとする。

第十四条（免責および損害賠償）

1. 利用者が練習場利用中に被った盗難被害、破損事故および人身事故については、その原因の如何を問わず、管理者は一切の責任を負わない。
2. 利用者が練習場利用中に天候不良、天変地異、関係各省庁からの指導、その他管理者の責に帰さない事由により練習場利用が中止された場合、その損害について弊社は一切の責任を負わない。
3. 利用者が練習場内外の建造物、設備、貸出備品を毀損、紛失させた場合には、利用者がその損害を全て賠償する。
4. 利用者が本規約に違反したことによって、弊社に損害が生じた場合は、利用者がその損害の全てを賠償する。
5. 利用者が、弊社により練習場の利用を取り消された場合、その損害については、弊社は一切の責任を負わない。
6. 練習場利用中に利用者自身の都合で利用を取りやめる場合、弊社は受領した利用料を返金しないものとする。
7. 弊社の責に帰すべき事由により、利用者に損害が発生した場合は、弊社は受領した利用料金を限度として、その損害を賠償する。
8. 利用者の機会損失等の得べかりし利益については、弊社はその損害の責任を負わない。
9. 利用者が被った練習場外での事故等について弊社は一切の責任を負わない。

第十五条（協議事項）

1. 本規約に定めない事項または本規約の各条項の解釈について疑義を生じた場合、弊社と利用者が協議の上、解決するものとする。

第十六条（裁判管轄）

本規約の準拠法は日本法とし、第一審専属裁判管轄は、仙台地方裁判所とする。

付 則

2018年12月11日改正。